



2015年3月20日

おきぎん県内景況・確報 2015年1月

-県内景況は、拡大している-

○個人消費関連

スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は「全店ベース」、「既存店ベース」ともに前年同月上回る。百貨店売上高も上回る。

家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。

新車販売台数…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動などで前年同月を下回る。

○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月上回り、生コン、セメントはともに下回る。

○観光関連

入域観光客数…28ヵ月連続で前年同月上回る。

観光施設入場者数…11ヵ月連続で前年同月上回る。

主要大型ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月上回る。

ホテル客室単価・宿泊収入(推計値)…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は上回る。

○倒産・雇用

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は下回る。

有効求人倍率…前月より下落。

○生産関連

鉱工業生産(12月)…前月より上昇。

大口電力使用量…前年同月上回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月上回り、ガソリン(レギュラー・軽油)価格は下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・確報(2015年1月分)

◎2015年1月 おきぎん「カトレア」景況図



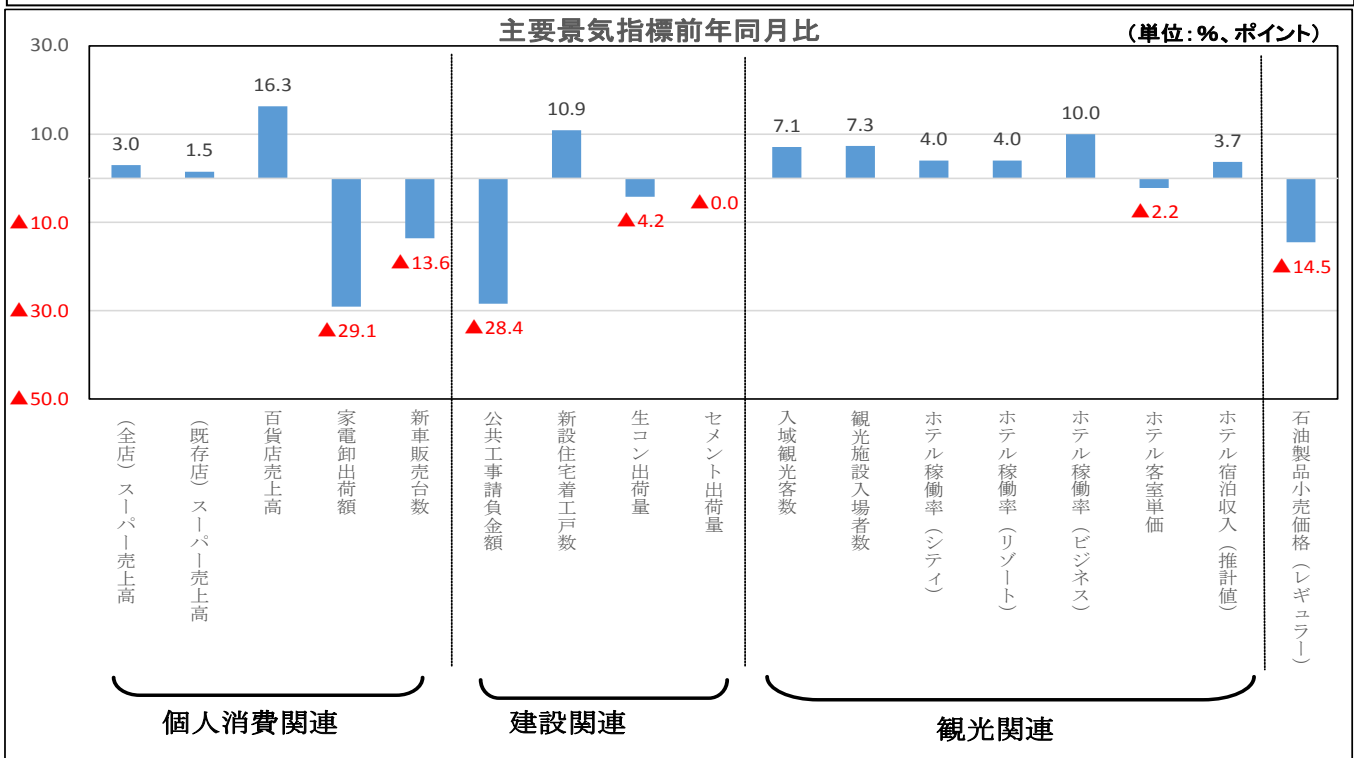
◎概況： 県内景況は、拡大している。

1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や食料品などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、沖縄県やその他の公共の団体での前年あった大型工事の反動などで前年同月を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コン、セメントは下回りました。

観光関連では、入域観光客数は28ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らいでおり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から12ヵ月連続で判断維持)



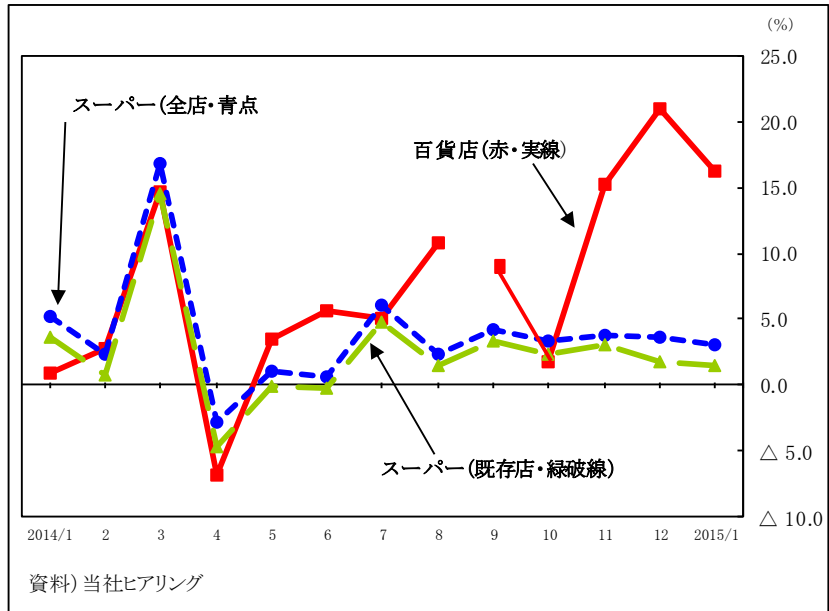


■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	8.8
10	3.4	2.4	1.7
11	3.8	3.0	15.2
12	3.6	1.7	21.0
2015/1	3.0	1.5	16.3

単位：%



資料) 当社ヒアリング

注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、2014年9月よりサンプル数の変更に伴い、8月までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

1月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「全店ベース(前年同月比3.0%増)」が9ヵ月連続で前年同月を上回りました。昨年に比べて土曜日が1日多かったほか新規出店効果などからウェイトの高い「食料品(同3.3%増)」を中心に売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。

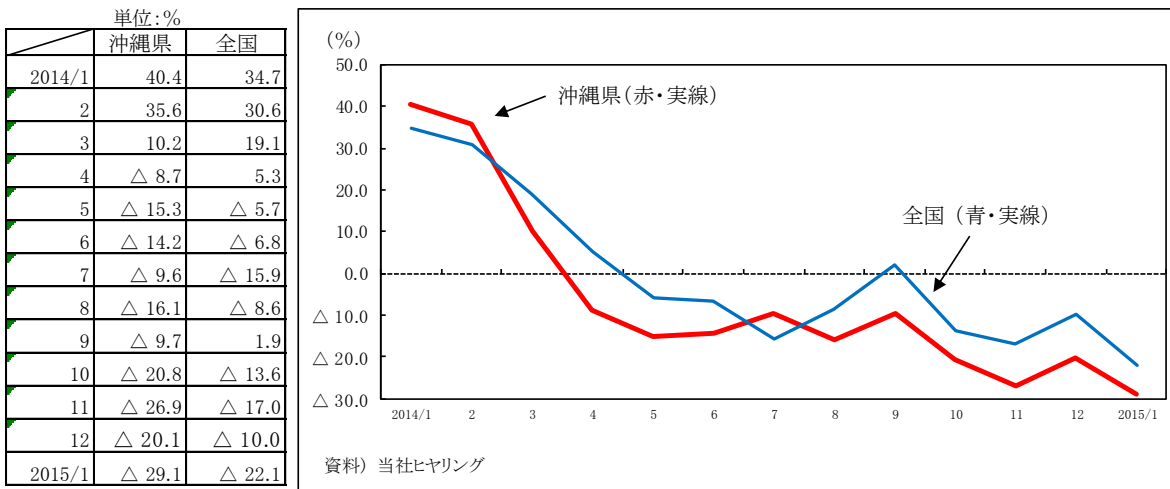
「既存店ベース(同1.5%増)」では7ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同1.4%増)」は、旧正月(昨年:平成26年1月31日⇒今年:平成27年2月19日)需要がなかったものの、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同2.3%増)」は全般的に気温が低く推移したことから家庭雑貨(寝具関連)の売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客向けの雑貨需要などもみられ、前年同月を上回りました。また、「衣料品(同0.5%増)」は気温が低く推移したことから、冬物衣料の売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。

百貨店売上高*は、昨年に比べて土曜日が1日多かったこともあり「衣料品」や「食料品」の売れ行きが好調で前年同月を上回りました(同16.3%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同8.2%増)」は冬物衣料バーゲンセールなどの販促効果から売れ行きが好調で、「婦人服(同4.9%増)」を中心に前年同月を上回りました。「食料品(同10.6%増)」も初開催の催事に加え、生鮮(精肉・水産・青果)などの売れ行きが好調で前年同月を上回りました。

また、「雑貨(同39.5%増)」や「身の回り品(同11.1%増)」なども、初商いの福袋や訪日観光客向けの売れ行きが好調で前年同月を上回りました。

*百貨店売上高については、2014年9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

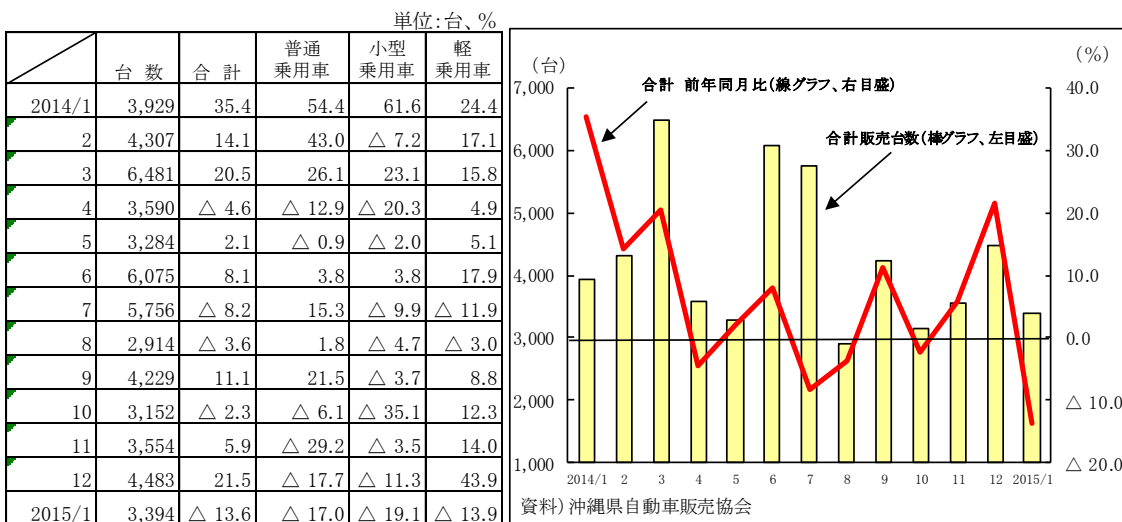
②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。



注)前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネルの売上減少に加え、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減がみられ、10 ヶ月連続で前年同月を下回りました(同 29.1%減)。品目別で見ると、「太陽光パネル(同 89.3%減)」は新規接続中止の影響から売上減少が続いています。「テレビ(同 12.1%減)」は4Kなどの新型モデルの売れ行きが低調で前年同月を下回りました。「エアコン(同 15.7%減)」、「冷蔵庫(同 33.6%減)」や「洗濯機(同 20.3%減)」といった白物家電全般は、昨年、量販店が増税前の在庫確保へ動いた反動減などから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回る。



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で 3,394 台(同 13.6%減)となり、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから3ヵ月振りに前年同月を下回りました。車種別にみると「普通乗用車(同 17.0%減)」が4ヵ月連続、「小型乗用車(同 19.1%減)」が7ヵ月連続、「軽乗用車(同 13.9%減)」が5ヵ月ぶりに下回りました。

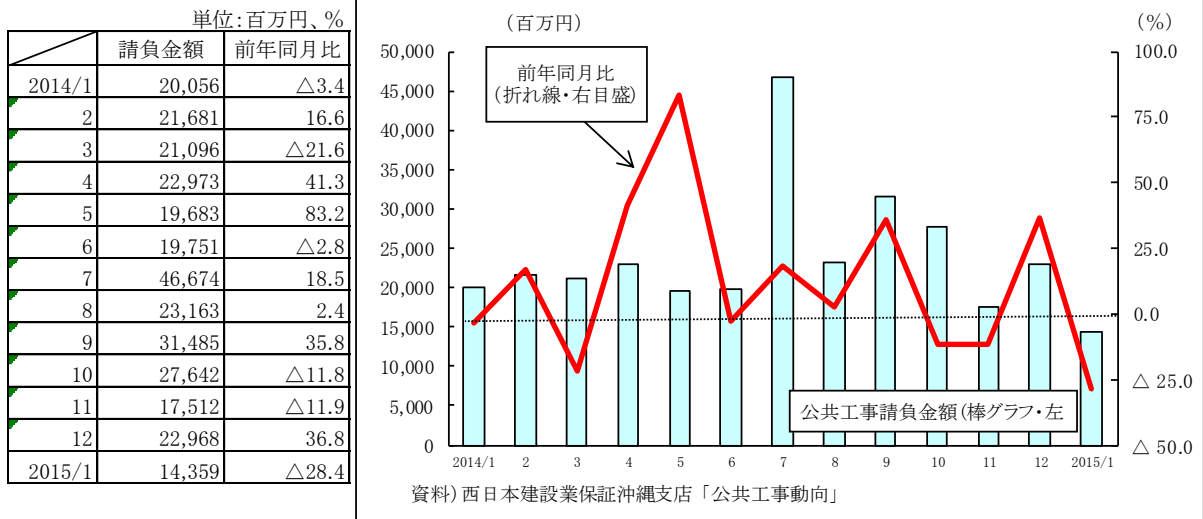
※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



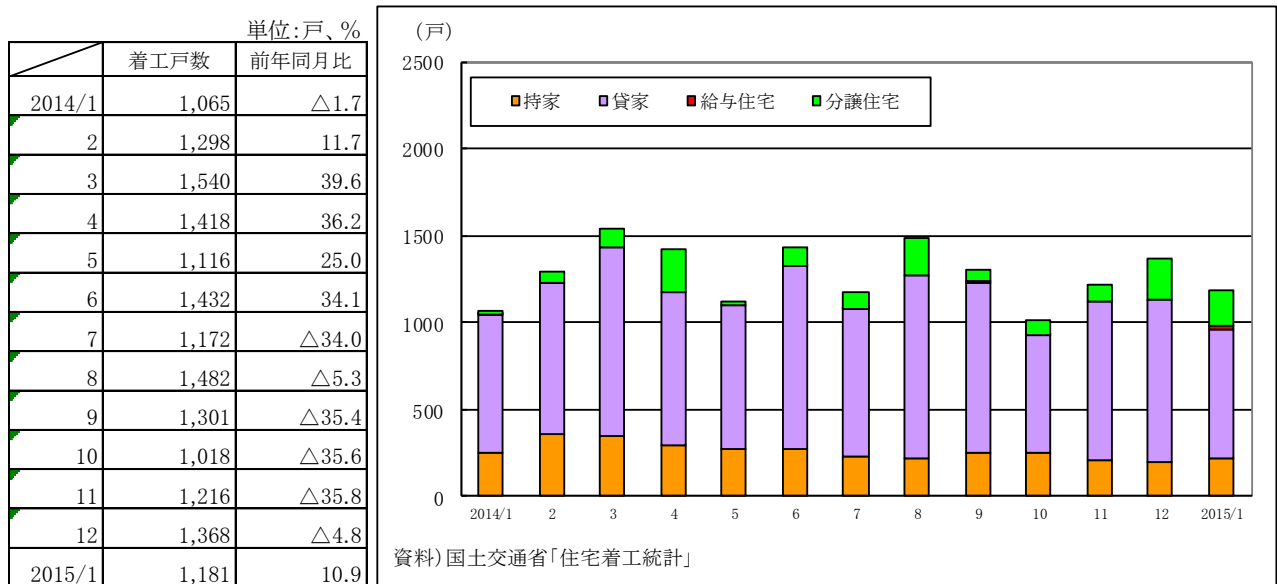
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。



1月の公共工事請負金額は、前年同月比 28.4%減の 143 億 5,900 万円となりました(2ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「市町村(同 61.9%増)」が小中学校関連工事等で前年同月を上回ったものの、「国(同 28.3%減)」は前年あった那覇空港滑走路関連の工事の反動、「独立行政法人等(同 91.4%減)」は大学関連工事の反動、「沖縄県(同 56.0%減)」は国際物流拠点施設新築工事の反動、「その他の公共的な団体(同 79.4%減)」はし尿処理施設更新工事の反動などで前年同月を下回りました。

②住宅投資等…着工戸数は前年同月を上回り、生コン・セメントは下回る。

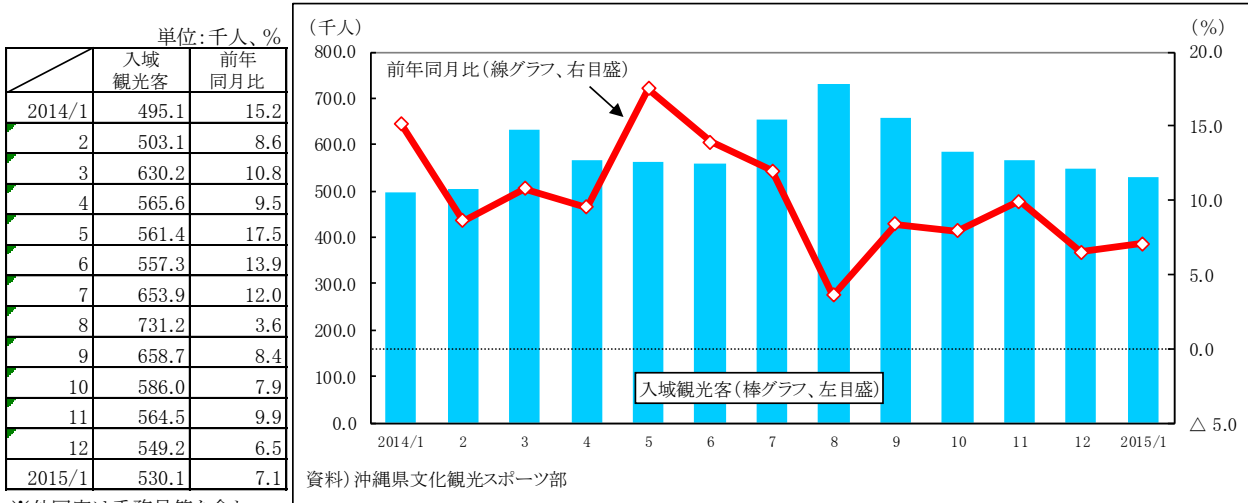


1月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 10.9%増の 1,181 戸と7ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同、約 12 倍)」や「給与住宅(同、約 19 倍)」が前年同月を上回り、全体を押し上げました。建設資材関連では、生コンの出荷量は 4.2%減少し、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より 11.2%上回ったものの、民間工事向け出荷は 12.0%下回りました。セメントの出荷量は 0.04%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。



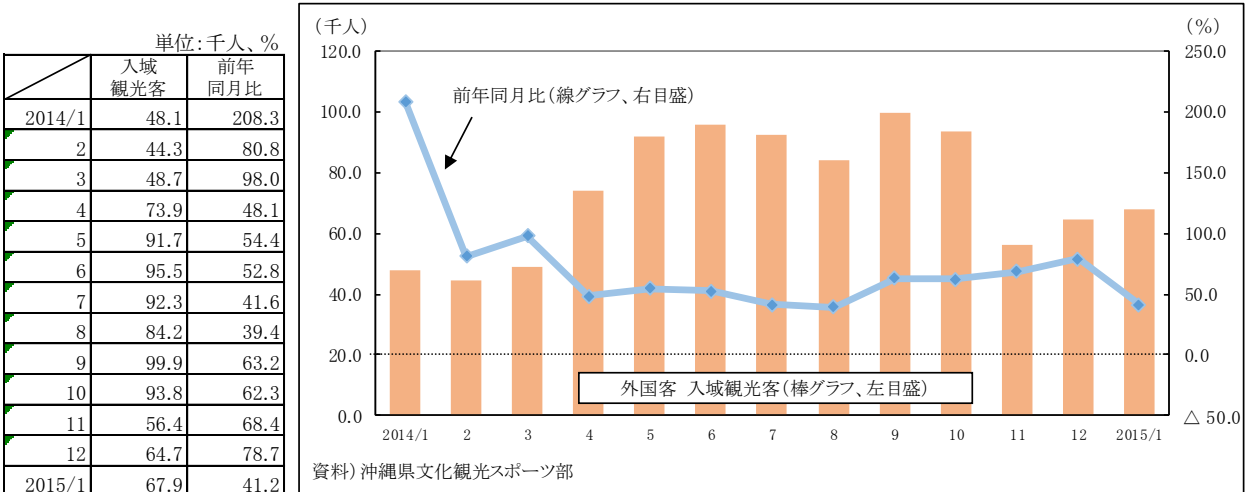
■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…28ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…18ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

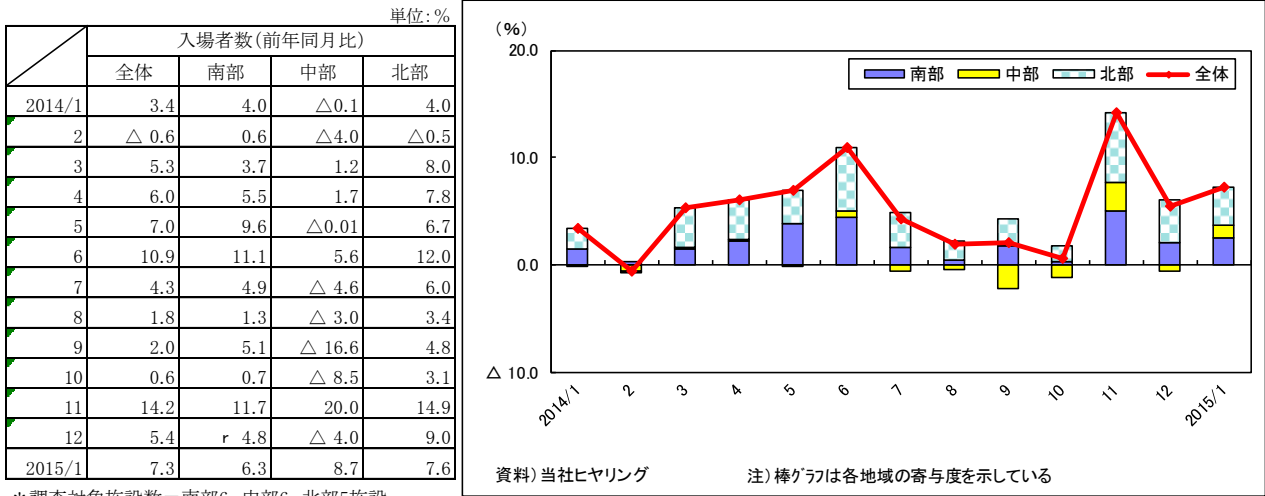
1月の入域観光客数は、35,000人多い530,100人(前年同月比7.1%増)となり、28ヵ月連続で前年同月を上回りました。(1月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同3.4%増)」は462,200人と、一部航空路線の運休により成田からの入込が減少したものの、関西や福岡方面は、航空路線の拡充(伊丹-那覇路線、LCC効果)やスポーツ大会の団体需要などにより好調に推移したことなどから、15ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同41.2%増)」は、67,900人と18ヵ月連続で前年同月を上回りました。昨年と比べ、春節(旧正月)の時期が後ろにずれた(昨年:平成26年1月31日⇒今年:平成27年2月19日)ことなどにより中国本土からの入込が減少したものの、航空路線の拡充等により韓国方面などからの入込が好調に推移したことなどから、前年同月を上回りました。「台湾(同34.8%増)」「韓国(同112.0%増)」「中国本土(同26.1%減)」「香港(同73.1%増)」

※乗務員等を除く2015年1月実績=全体529,700人(同7.8%増)、外国客67,500人(同51.7%増)、国内客は変わらない。

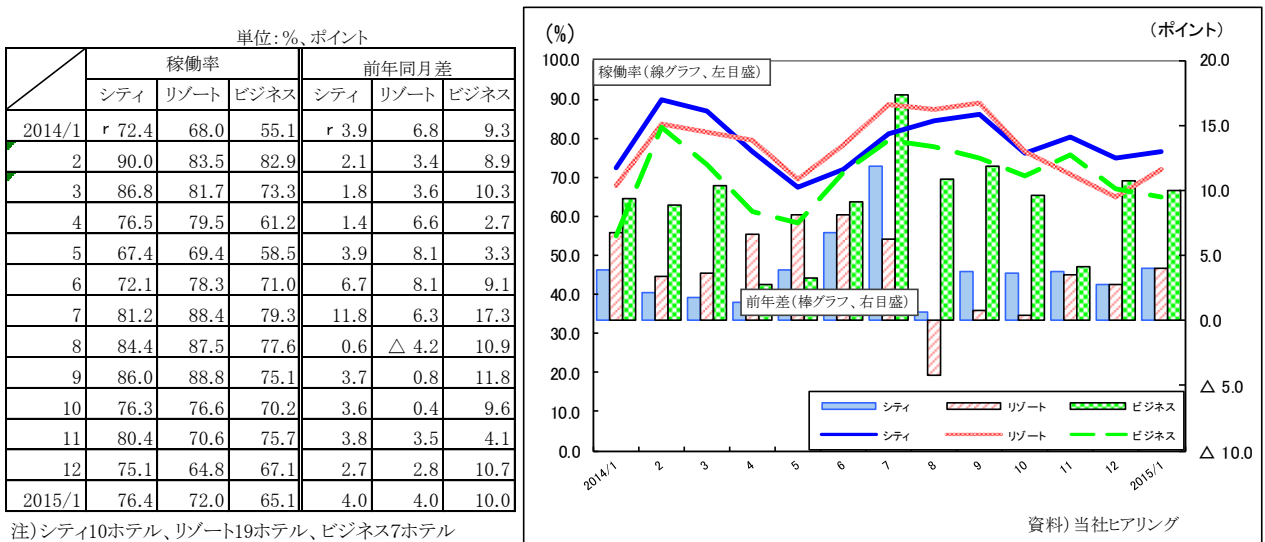
②観光施設入場者数…11ヵ月連続で前年同月を上回る。



*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より7.3%増加(11ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同6.3%増と15ヵ月連続、中部は同8.7%増と2ヵ月ぶり、北部は同7.6%増と11ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

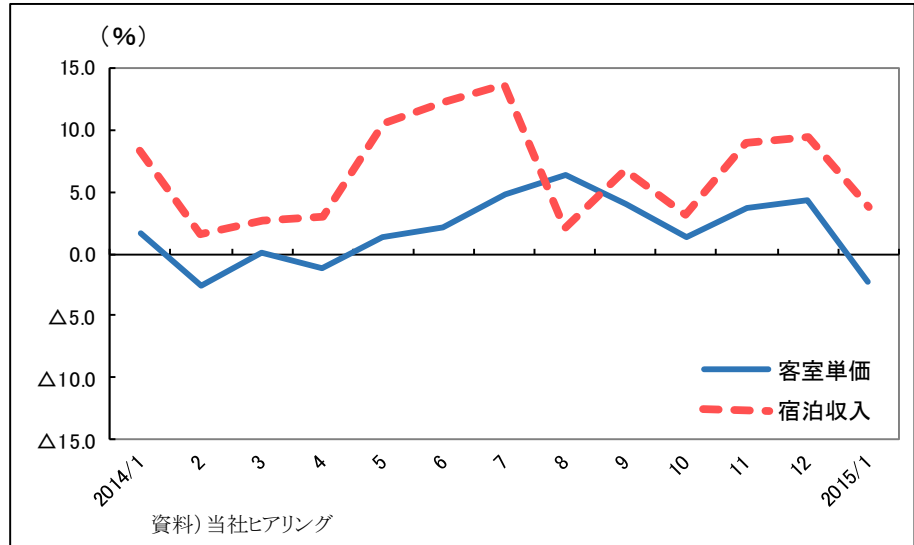


注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが76.4%と4.0ポイント上昇(14ヵ月連続)、リゾートホテルが72.0%と4.0ポイント上昇(5ヵ月連続)、ビジネスホテルが65.1%と10.0ポイント上昇(15ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は上回る。

単位:%		
	客室単価	宿泊収入
2014/1	1.6	r 8.3
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△1.2	3.0
5	1.3	10.5
6	2.1	12.2
7	4.8	13.6
8	6.3	2.1
9	4.0	6.8
10	1.4	3.2
11	3.7	9.0
12	4.3	r 9.4
2015/1	△2.2	3.7



※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

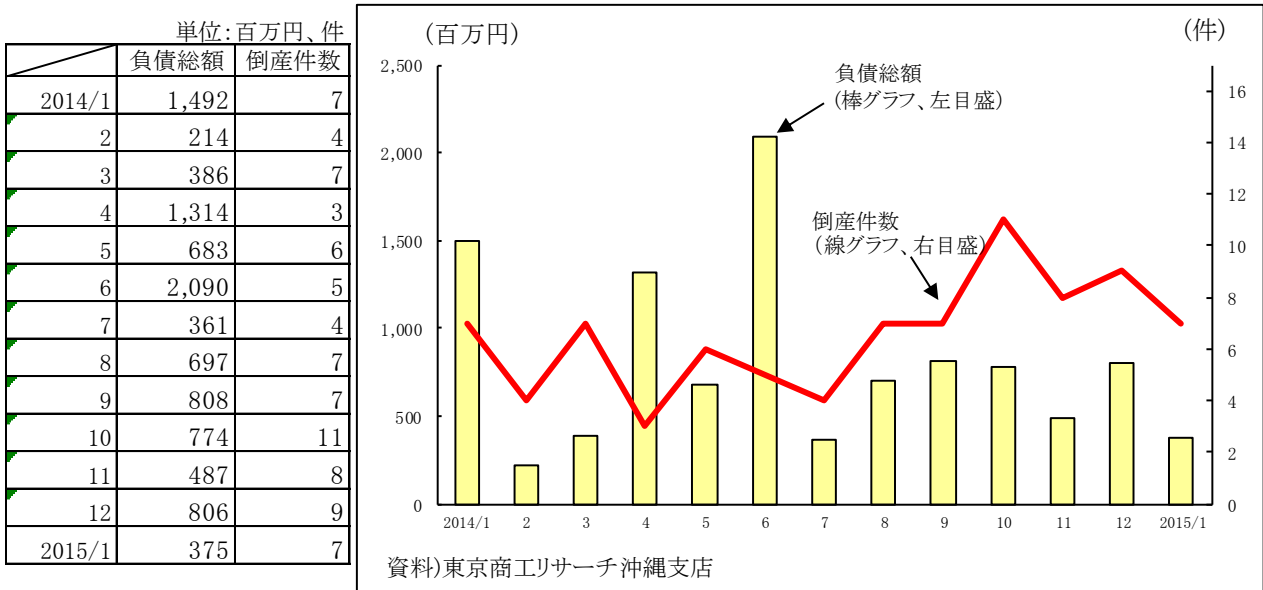
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 2.2%減と前年同月を下回ったものの、**宿泊収入**は同 3.7%増と前年同月を上回りました。

■企業倒産:  (ふつう)

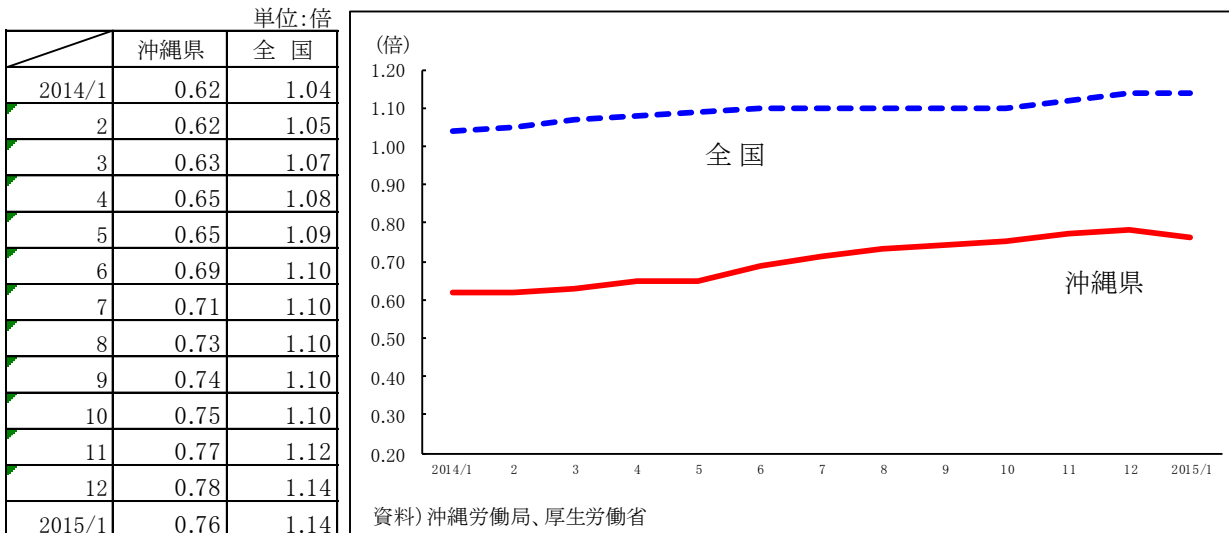
企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は下回る。



1月の**企業倒産件数**は、7件(うち、1億円以上の大口倒産1件)発生し前年同月と同数、負債総額は3億7,500万円と74.9%減少しました。

■雇用関連:  (やや良い)

①有効求人倍率…前月より下落。



注) 季節調整済
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

1月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.1%減の22,580人に対して、月間有効求職者数(同上)は同1.1%増の29,528人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍となり前月より0.02ポイント低下しました。完全失業率(原数値)は5.2%となり、前年同月より0.4ポイント上昇しました。

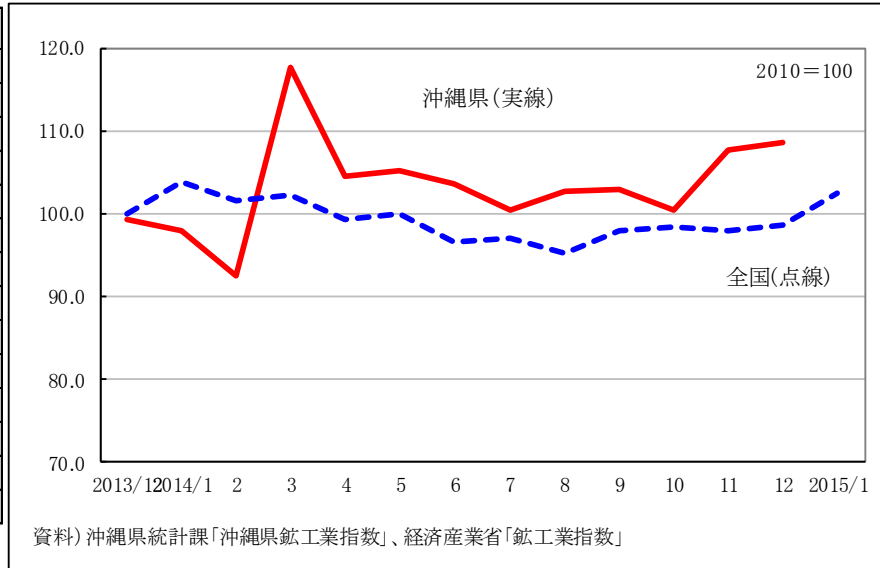


■ 鋳工業・大口電力関連: (ふつう)

① 鋳工業生産指数(12月)…前月より上昇。

	沖縄県	全国
2013/12	99.3	100.0
2014/1	97.9	103.9
2	92.6	101.5
3	117.6	102.2
4	104.5	99.3
5	105.2	100.0
6	103.7	96.6
7	100.4	97.0
8	102.8	95.2
9	102.9	98.0
10	100.4	98.4
11	107.6	97.9
12	108.6	98.7
2015/1	-	102.4

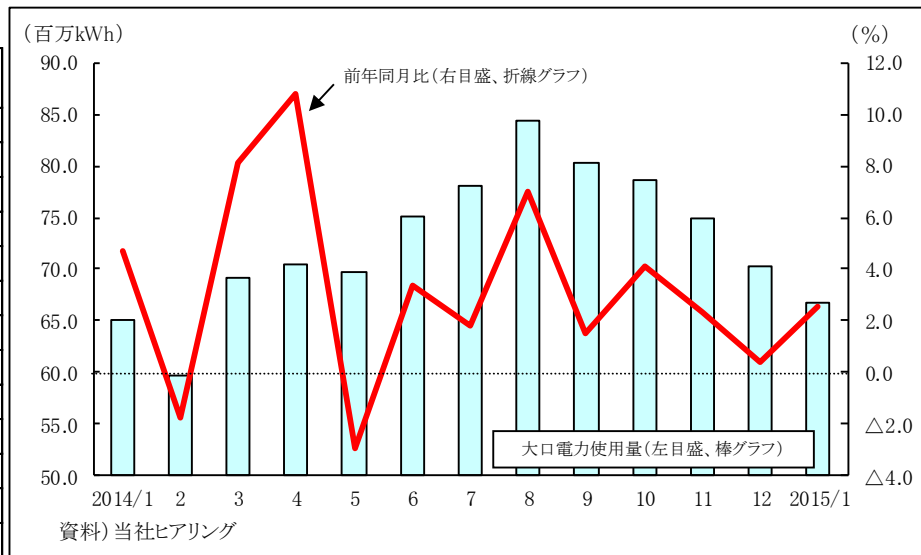
注) 数値は季節調整済指数



鋳工業生産指数(県内:12月)は、前月より0.9%上昇し、108.6となりました。産業別にみると、「その他の工業(同26.9%増)」や「化学・石油製品工業(同15.4%増)」、「食料品工業(同3.3%増)」等の業種で前月を上回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を上回る。

単位: 百万kWh、%		
	大口電力 使用量	前年 同月比
2014/1	65.1	4.7
2	59.7	△1.8
3	69.2	8.1
4	70.5	10.8
5	69.7	△2.9
6	75.1	3.4
7	78.0	1.8
8	84.4	7.0
9	80.4	1.5
10	78.6	4.1
11	75.0	2.3
12	70.3	0.4
2015/1	66.8	2.6

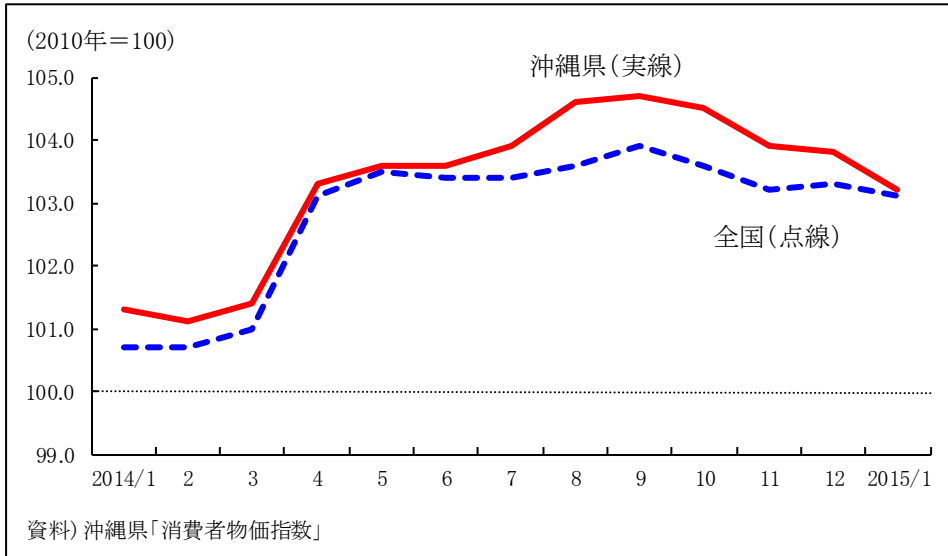


1月の大口電力使用量は、全体で66.8百万kWhとなり、前年同月を2.6%上回りました。内訳では、「鉄鋼工業製造業(同18.0%減)」が生産量の減少などで前年同月を下回ったものの、「窯業土石製造業(同60.5%増)」が生産量増加などから上回りました。

■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を上回る。

	沖縄県	全国
2014/1	101.3	100.7
2	101.1	100.7
3	101.4	101.0
4	103.3	103.1
5	103.6	103.5
6	103.6	103.4
7	103.9	103.4
8	104.6	103.6
9	104.7	103.9
10	104.5	103.6
11	103.9	103.2
12	103.8	103.3
2015/1	103.2	103.1

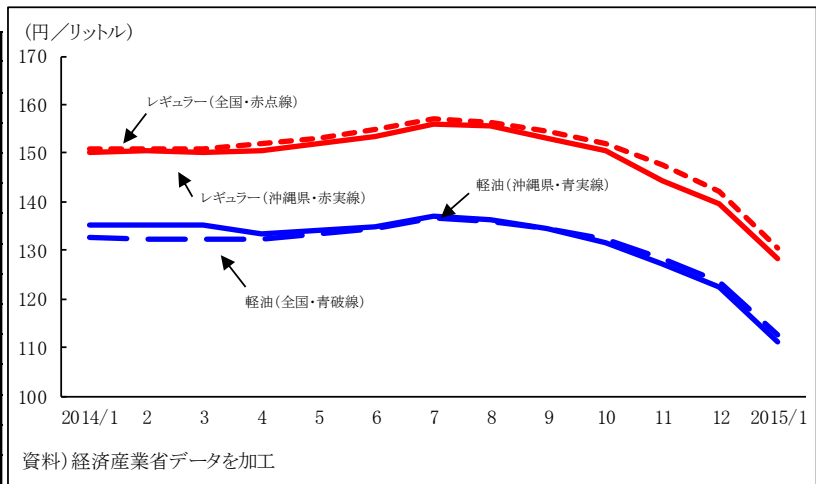


1月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比1.8%上昇し、103.2となりました。内訳をみると、調理食品を含む「食料(同3.8%増)」や「教養娯楽(同2.9%増)」などが全体を押し上げました。

②ガソリン小売価格(税抜き)…レギュラー、軽油価格はともに前年同月を下回る。

単位:円/リットル

	沖縄県		全国	
	レギュラー	軽油	レギュラー	軽油
2014/1	150.0	135.2	151.0	132.5
2	150.4	135.2	150.8	132.3
3	150.3	135.1	150.9	132.2
4	150.7	133.5	152.1	132.1
5	151.8	134.3	153.2	133.2
6	153.4	134.7	154.7	134.4
7	156.1	136.9	157.2	136.6
8	155.4	136.2	156.5	136.0
9	153.2	134.4	154.7	134.5
10	150.5	131.7	152.1	132.3
11	144.4	127.2	147.5	128.2
12	139.7	122.3	142.2	123.4
2015/1	128.3	111.1	130.5	112.6



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

注) 本データについて消費税引き上げに伴い、当月より税抜き価格を表示している。

1月のガソリン小売価格等(税抜き)において、原油価格の下落などで県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より14.5%、軽油小売価格は前年同月より17.8%下落しました。